



大塚だより

大田区立調布大塚小学校

校長 玉野 麻衣



保護者・地域の方と連携しての活動

副校長 戸村 隆之

10月20日(日)本校を会場に防災活動拠点訓練が行われました。災害時に本校が避難所になった際の運営について年1回自治会・地域の方と行っている訓練です。消火器訓練や本校の備蓄倉庫に保管されている段ボールベッドの体験、マンホールトイレの見学、災害時の特設電話訓練などありました。学校は、こどもたちの教育活動だけでなく、地域交流の拠点としての役割を担っています。

学校の教育活動にも保護者・地域の皆様の協力をたくさんいただいています。大塚だよりでご案内している、花壇ボランティア、図書ボランティアには、毎回たくさんの皆様に参加していただいています。児童への朝の読み聞かせボランティアは、保護者の方だけでなく、卒業生の保護者の方も中心となって活動しています。

各学年の校外学習の際の引率ボランティア、図画工作科や家庭科での実技での支援ボランティア、入学当初の1年生の給食指導補助などにも保護者・地域の皆様の協力をいただいています。

先日から12月に行われる大田区小学校駅伝大会に向けての練習が始まりました。今年度は、スポーツに詳しい地域の方を外部講師としてお願いし、走り方や長距離走のコツなどの指導のアドバイスをさせていただきます。

また、大田区の独自教科「おおたの未来づくり」の学習では、区内の企業の方、せせらぎ館の方、またスクールサポート調布大塚や保護者の方からご紹介いただいた企業、外部講師の方との連携授業もすすんでいます。

文部科学省では、「社会に開かれた教育課程の実現」を目指しての取組をすすめています。本校で行っているコミュニティ・スクールの取組もその一つです。学校だけでなく、保護者や地域の方などとのつながりの中で学ぶことで、こどもたちが自分の力で人生や社会をよりよくできるという実感をもたせていきたいです。



12月の生活目標

「礼儀正しいあいさつをしよう」

○今年度は、「自分から」「名前を呼んで」挨拶をすることを目標にしています。2学期は、感謝の気持ちを伝えることを中心に取り組んでいます。「ありがとうございます」「いただきます」「ごちそうさまでした」など、感謝の気持ちを込めて伝えましょう。

12月の保健目標

「冬を健康にすごしましょう」

○大田区内でもインフルエンザ様疾患による学級閉鎖が増えてきています。手洗い、換気をこまめにする、体調に応じてマスクを着用するなど、基本的な感染症対策を行って楽しい冬休みを迎えましょう。早寝・早起きも忘れずに！

○予備マスクのご用意をお願いします

給食当番で使用するほか、咳が出るなどの体調不良時にも必要です。ランドセルに2・3枚ご用意ください。

○ 大田区小学生駅伝

・日時 12月14日(土) 12:25～ ・場所 大田スタジアム

大田区の各校から選ばれた5、6年生の選手16名が、出場します。本番まで練習を重ね、調布大塚小学校の代表として、他校と競い合ってきます。ぜひエールを送ってください。

5年生より

5年担任

5年生は、4月から高学年の仲間入りをし、様々な経験を積んできました。1学期は「じりつ（自立・自律）」し「学年のつながりを創る」ことを目標に取り組みました。6月のTGGでの外国語校外学習や音楽鑑賞教室では、校外に出かける際のマナーを改めて考え、教室では学べない体験をすることができました。7月の移動教室では、自分たちで時間を意識して行動を決めたり、友達と協力しながら生活する楽しさを味わったりすることができました。2学期の目標は「協働」して「つながりを強める」。「団結」をテーマに掲げた10月の体育発表会では自分と向き合い粘り強く練習に取り組み、自分や友達への理解をさらに深め、本番でひたむきに取り組んできた努力の成果を堂々と発表できました。11月には各企業団体とのコラボ授業が始まっています。日々の授業での学びが、コラボ授業を通して地域へ、社会へ広がっています。互いのよさを認め生かし合いながら、新たな課題に知恵を出し合いながら挑んでいきます。各コラボ授業は、きっと発想豊かで魅力的なアイデアでいっぱいとなることでしょう。担任も楽しみにしています。3学期の目標は「そうぞう（創造・想像）」です。これから展覧会、こどもフェスティバルと6年生に一步步近づいていきます。いつでも前向きに熱心に取り組んできた5年生です。いつでも悔いのないよう、「全力」を出し切って立ち向かうこどもたちを、私たち担任も「全力」でサポートしていきます。

2年生より

2年担任

2年生のテーマは、「自分も みんなも」です。自分も楽しい、みんなも楽しい。自分も分かる、みんなも分かる。自分もできる、みんなもできる。そんな姿を目指しています。様々な場面で「自分も みんなも」はあります。生活科の学習「せかいでひとつわたしのおもちゃ」では、「〇〇ちゃんのびゅんびゅんカーは、マット3枚の坂道コースも登れるのに、僕のは登れないなあ。なんでだろう?」「重さが違うんじゃない?」「なんかスピードが出ないなあ。」「◇◇くんのは、風受けが下にすっちゃっているから、もう少し上につけるといいと思うよ。」「バランスが悪そうだから、タイヤをつける位置をもっと外側にするといいと思うよ。」「うちわを交換してみようよ。」などやり取りをする姿が見られました。

今後もこどもたちが互いのことを思い、寄り添い、受け止め、認め合いながら学習をすすめられるようにしていきます。

縦割り班活動について

特別活動主任

1年生から6年生までを12グループに分けて、縦割り班活動を行っています。月に2回、どの遊びをするか話し合ったり、決めた遊びで遊んだりします。6年生のリーダーは事前に班長会議を行い、前回の改善点を確認したり、話し合い活動の進め方や案が出なかった場合に備えて意見を出し合ったり、遊び場所や持ち物を知らせるポスターを作成したりします。準備を十分にしながら、臨機応変に対応する6年生の姿を見て、5年生は6年生をサポートしつつ、リーダーに必要な資質を学んでいます。1・2年生はルールを守り、上学年の話を聞いて、楽しく遊んでいます。3・4年生は下学年の様子を見守り、遊びの提案や振り返りなど、考えたことを発表しています。

また、今年度は学期に1回、縦割り班給食も行っています。それぞれの学年が役割を分担し、一緒に給食の準備をし、食事し、片付け、遊びます。それぞれの児童の良さが発揮されています。縦割り班活動をきっかけにして、調布大塚小学校のこどもたちの仲が深まることを期待しています。